

エネルギー資源と日本外交



化石燃料政策の変容を通して 1945年～2021年

池上萬奈著 A5判上製本232頁 本体2,800円 ISBN978-4-8295-0829-9

資源に乏しい日本はどのようにエネルギー資源を確保してきたのか
1973年の第一次石油危機（オイルショック）を機に
積極的に展開した資源外交を概観する

石油を主とした化石燃料を巡る日本の外交政策を、
「対米協調」「国際協調バランス」の視角から分析し、
今後のエネルギー資源政策における日本外交の課題を考察する

第一章 戦後日本の石油政策

- 1 国際石油資本依存の体制
- 2 国際石油資本軽減の試み
- 3 アラブ諸国の石油戦略

第二章 第一次石油危機（オイルショック）

- 1 アラブ諸国の石油戦略発動
- 2 アラブ諸国の石油戦略強化
- 3 新中東政策発表へ—危機解消に向けて

第三章 資源保有国との二国間外交推進

- 1 三木武夫特使の中東八カ国訪問
(友好関係の構築を目指して)
- 2 中曽根康弘通産相のイラン・イラク訪問
(政府間取引の成立を目指して)
- 3 小坂善太郎特使の中近東八カ国訪問
(友好関係の強化を目指して)

第四章 多国間協調外交の推進

- 1 石油安定供給のためのワシントン石油消費国会議
- 2 具体的作業のためのエネルギー調整グループ会合
- 3 多国間協調のなかの日米協力
(日米エネルギー研究開発協力)

第五章 化石燃料抑制の資源政策

- 1 温室効果ガス制限目標を課した京都議定書
- 2 すべての国の参加を求めたパリ協定

石油備蓄放出

OPEC原油減産

石油危機

気候温暖化

温室効果ガス排出削減

オイルショック

原油価格高騰

化石燃料政策

池上萬奈(いけがみ まな)

1974年慶應義塾大学文学部
史学科卒業、2008年同大学
大学院法学研究科前期博士
課程、2013年後期博士課程
修了、博士(法学)。その
後、慶應義塾大学大学院法
学研究科助教(有期・研究
奨励)、同大学法学部非常
勤講師を経て、現在、立正
大学法学部非常勤講師。

主な業績：「第一次石油危
機における日本の外交—石
油政策と日米関係—」『法
学政治学論究』第79号、「対
越経済援助における日本外
交—経済援助再開の試みと
日米関係—」『法学政治学
論究』第85号、「日本の新
中東政策形成過程の考察—
第一次石油危機とキッシン
ジャー構想を中心に—」『法
学政治学論究』第87号、「第
一次石油危機における日本
外交」『国際政治』第177号、
「エネルギー資源と日本外
交—化石燃料政策の変容を
通して—」『法学研究』第
94巻第2号等。



三木武夫特使



小坂善太郎特使



中曽根康弘特使

2月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 2月4日(金) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
エネルギー資源と日本外交		
2月新刊 本体 2,800円	部	